



みなみの風

あいさつ・つたえあい・チャレンジが自慢
～優しい言葉があふれる坂下南小学校～

夏休み直前特集 パート2(お手伝い編)

夏休みに、子どもの出番をつくりましょう！

「お手伝い」の習慣づくりを

～ まかせて、感謝し自己肯定感を育む ～

忙しい保護者の皆様にとっては、子どもに手伝わせるより自分でやった方が早いことも多いかもしれませんが、でも、子どもにとってお手伝いは、「誰かの役に立つ」ことのできる貴重な機会です。そして、お手伝いは、子どもの自己肯定感や感謝の気持ちを育む大切な体験でもあります。子ども達にとって時間的にゆとりのあるこの機会に、積極的に家事に参加させることで、お手伝いの習慣を身に付けさせましょう。

<子どもに頼れる家事はたくさんあります！>

家事と言って思い浮かぶのが、掃除、洗濯、料理かと思います。でも、実はその約8割は「名もなき家事」と呼ばれているものだそうです。ランキングを見つけたのでご紹介します。

「名もなき家事」ランキング

- 第1位 裏返しに脱いだ衣類・丸まったままの靴下をひっくり返す作業
- 第2位 玄関で脱ぎっぱなしの靴の片付け・下駄箱へ入れる／靴を揃える
- 第3位 トイレトペーパーの補充・交換
- 第4位 服の脱ぎっぱなしを片付ける・クローゼットにかける／脱ぎ捨てた服を回収して洗濯カゴへ入れる
- 第5位 食事の献立を考えること
- 第6位 飲み終わったコップやペットボトル・空き缶を片付ける／洗う
- 第7位 子どもが散らかしたオモチャなどの片づけ
- 第8位 シャンプー・洗剤・ハンドソープなどの補充・詰め替え
- 第9位 資源ゴミの分別・仕分け
- 第9位 お風呂や洗面台の排水溝にたまった髪の毛を取り除く／お風呂の排水溝の掃除・網替え

「玄関で脱ぎっぱなしの靴を揃える」(第2位)、「トイレトペーパーの補充・交換」(第3位)など、子どもでも力を発揮できる家事がたくさん並んでいます。ぜひ、上記を参考に、お子さんとお手伝いについて話し合ってみてください。

『ふくしまの「家庭学習スタンダード」』には、「早寝、早起き、朝ごはん」とともに、お手伝いの習慣づくりの大切さが述べられています。さらに、次のような福島県教育委員会教育長のメッセージも記載されています。

【お手伝い：～ 体験、実感、感謝の心 ～】

子どもに家事を手伝わせることは、勤勉性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。